

調査結果情報

豊岡市農業共済課
豊岡農業改良普及センター
たじま農業協同組合

◆ 概況

気温が高めに推移したため、出穂が平年より4～5日早くなっています。
今の時期は、稲が最も水を必要とする時期ですが、水を溜めっぱなしにすると根腐れの原因となります。
間断灌水により、田んぼが乾かないように注意しましょう。

◆ 調査結果の概要 【7月25日調査】

調査地域	病気の発生状況（25株調査）	害虫の発生状況（払い落とし又はすくい取り）
豊岡	調査対象病害は、確認できませんでした。	一部のほ場で、ウンカ類が確認されましたが、微程度です。
城崎	調査対象病害は、確認できませんでした。	調査対象害虫は、確認できませんでした。
竹野	5カ所のうち2カ所で、いもち病が確認されました。 特に常発地では防除を実施してください。	5カ所のうち1カ所で、要防除基準を超える斑点米カメムシ類が確認されました。
日高	5カ所のうち3カ所で、いもち病が確認されました。 特に常発地では防除を実施してください。	調査対象害虫は、確認できませんでした。
出石	調査対象病害は、確認できませんでした。	5カ所のうち1カ所で、要防除基準を超える斑点米カメムシ類が確認されました。
但東	一部のほ場で、紋枯病が確認されましたが、微程度です。	調査対象害虫は、確認できませんでした。

◆ 病害虫発生状況と今後の管理について

☆ いもち病

葉いもち病が、一部のほ場で確認されました。発生量は少ないです。今後の天候によっては、発生、拡大することが予想されます。**特に常発地では注意してほ場を観察し、必要に応じて防除を実施しましょう。**

☆ 紋枯病

紋枯病が、一部のほ場で確認されましたが、発生量は少ないです。しかし、発生田では菌核の形で冬を越し、来年以降の発生源となります。各ほ場における発生の有無、程度等よく観察してください。

☆ ウンカ類

ウンカ類は一部のほ場で発生を確認しましたが、発生量は少ない状況です。

☆ カメムシ類

一部のほ場で発生を確認しました。カメムシ類は出穂期に畦畔のイネ科雑草から移動してきて吸汁し、斑点米の原因となります。**常発地では確実に出穂期防除を実施しましょう。**

☆ 農薬を散布する場合、隣接する野菜ほ場などに飛散しないように注意しましょう。

今年の気象情報

平成29年と10年（平成19～28年）平均気温と降水量の比較（豊岡）

